



未来を  
つむぐ。  
*Spin the future.*

# 電気

宮城県職員募集2023

# 電気の業務紹介

## ◆ 概要

ダム、学校及び庁舎、上・下水道、工業用水道、※防災情報システムなど、県が管理する生活基盤や産業基盤となる施設に関わり、その施設機能を万全に維持するための業務などを行います。

※河川流域情報システム、水門・陸閘自動閉鎖システム、宮城県総合防災情報システム

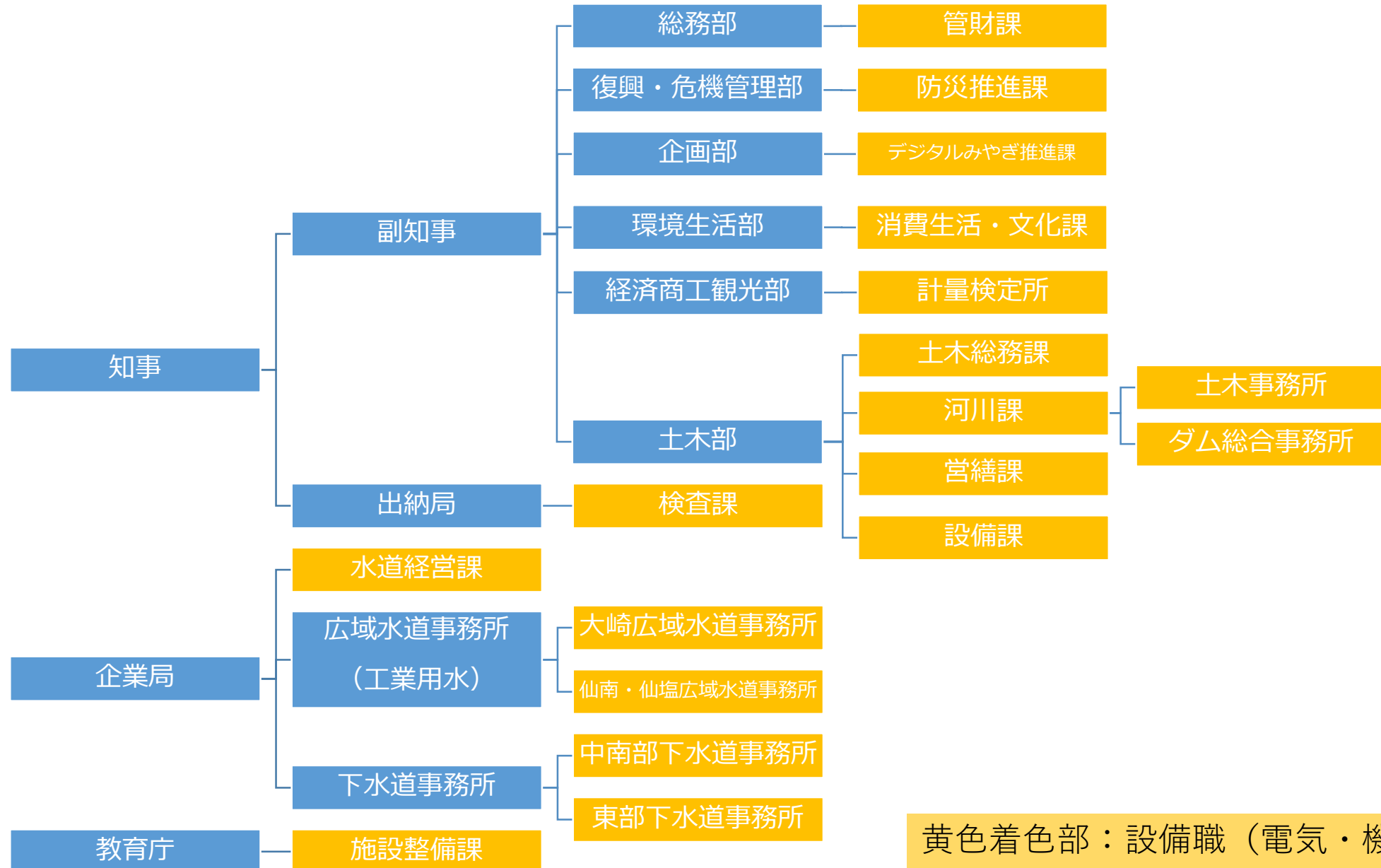
## ◆ 勤務先

管財課、河川課、営繕課、設備課、企業局、教育庁  
ダム総合事務所（仙台市、加美町、栗原市）

広域水道事務所（加美町、白石市）

下水道事務所（多賀城市、石巻市） など

# 電気の業務紹介



# 自己紹介

- ◆ 出身：岩手県大船渡市
- ◆ H23.3 県内大学卒業
- ◆ H23.4 入庁

## 入庁後の異動歴（現在入庁13年目）

### H23.4～ 栗原地方ダム総合事務所 管理第一班

ダムの操作及び設備の維持管理、修繕工事など

### H26.4～ 中南部下水道事務所 施設管理班

浄化センター（下水処理場）等の整備、設備工事、維持管理など

### H29.4～ 大崎広域水道事務所 施設管理班

浄水場等の維持管理、設備工事、工業用水道の給水及び工事承認など

### R2.4～ 土木部 設備課 電気設備班

県有施設（高校、特別支援学校、警察署等）の建築設備にかかる新築・改修工事、水門・陸閘自動閉鎖システムの構築など

## なぜ公務員？

- 学生時代にダムの見学をした際に、社会インフラの整備・維持管理や災害の防止に公務員が大きく関わっていることを知り、自分も当時学んでいた電気の分野で関わってみたいと思い志望しました。

## なぜ宮城県庁？

- 岩手県出身ですが、大学3年時より宮城県に住み、海・山・川・平野が調和した自然環境で豊かで暮らしやすい宮城県の美しさ、人々の人柄の良さに触れ、宮城県職員として貢献したいと考えたためです。

# これまでに担当した業務の紹介

## □ 大和浄化センター水処理4系列電気計装設備工事（中南部下水道事務所）

- 下水道処理場の水処理施設増設に伴い、電気設備を設置しました。

### 工事内容（大和浄化センター）

○ 大和浄化センター：富谷市、大和町、大郷町、大衡村の計1市2町1村の汚水を処理

#### 【工事対象】

- ①コントロールセンタ等の機能増設（コントロールセンタ・補助継電器盤・工業変換器盤）
- ②盤類の新設（シーケンスコントローラ盤・現場操作盤）
- ③計装機器の新設（流量計・DO計・ORP計・PH計・MLSS計など）
- ④各種配管配線工事
- ⑤試運転調整



新設したコントロールセンタ  
（送風機棟電気室）



新設した計装設備（DO計など）  
（4系列反応タンク）

## □ 大崎広水・仙北工水多重無線設備更新工事（大崎広域水道事務所）

- 設備の老朽化及び通信規則の変更に伴い、無線設備を更新しました。

### 工事内容（多重無線）

- 大崎広域水道：大崎市、栗原市、富谷市、加美町、涌谷町、美里町、大和町、大郷町、松島町、大衡村の計3市6町1村へ水道用水を供給
- 仙台北部工業水道：仙台北部中核工業団地群（大和町、大衡村）へ工業用水を供給

#### 【工事対象】

- ①多重無線設備（麓山浄水場・長谷地無線中継局・小池ヶ平無線中継局）
- ②単一无線設備（麓山浄水場・中峰浄水場）
- ③移動無線設備の更新（公用車の車載無線・ハンディ無線機）
- ④各種配管配線工事
- ⑤試運転調整



アンテナの施工状況  
（小池ヶ平無線中継局）



更新した無線設備  
（麓山浄水場無線室）

# 現在の担当業務の紹介

設備課では、学校や警察署等の県有施設の建物の新築・改修工事の設計・発注・監理等を担当しています。

また再生エネルギーの導入や災害等に対応した機能確保対策も行っています。

## 再生エネルギー導入（太陽光発電設置）

災害・停電時でも県有施設へのエネルギー供給等が可能な再エネ設備等を整備する。（20施設）  
（令和5年度現在設計中、令和6年度工事完成予定）

写真は過年度完成工事  
（気仙沼保健福祉事務所）



屋上に設置した太陽光発電設備  
（太陽光パネル）



電気室に設置した太陽光発電設備  
（パワーコンディショナ・蓄電池）

## 建物新築工事

屋上に設置した電気設備  
（キュービクル）



建替した南三陸警察署庁舎  
（東日本大震災により被災し建替）



宮城第一高校完成イメージ  
（現在工事中）

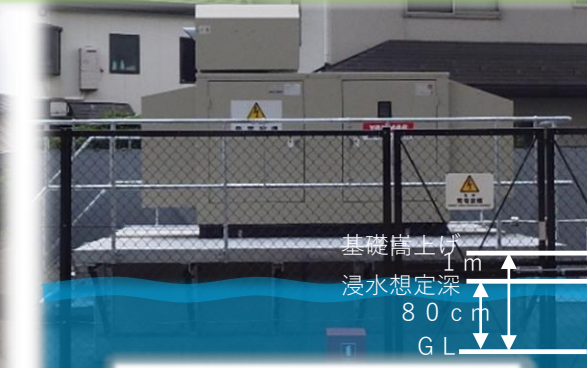
## 災害時機能確保（浸水害対策）

洪水ハザードマップによる浸水想定高以上への設備高上げの実施。  
（令和3年度設計、令和4年度完成）

写真は過年度完成工事  
（仙台南警察署）



浸水想定高以上に高上げ更新した非常用発電設備  
（写真左が発電機、右が燃料油庫）



浸水イメージ  
（発電機）

# 入庁前のイメージとのギャップ

## ◆ 入庁前のイメージ

- ◆ 良くも悪くもカレンダー通りの勤務（平日は休めない）
- ◆ デスクワークがメインで外出することは少ない。

## ◆ 入庁してみたら・・・

- ◆ 年次有給休暇の積極的な取得が推奨されており、平日でも気軽に休むことが可能です。
- ◆ 現場を確認したり、打合せのために外出することも多いです（リモート会議等も活用しています）。



# 仕事をする上で心がけていること

## ◆ チームで働く！

私たちの仕事は自分ひとりで完結するものはほとんど無く、職員同士や業者の方など必ずと言っていいほど一緒に仕事を進めていくビジネスパートナーが存在します。その方々と信頼関係を構築し、互いに尊重し合って仕事を進めていくことが非常に重要だと感じています。

## ◆ コミュニケーションと段取り！

チームで働くことを意識し、各関係者との信頼関係を構築するにあたっては、コミュニケーションや情報共有、仕事への段取りをしっかりと行うことが大切と考えており、お互いに気持ち良く仕事ができるように心がけています。また、コミュニケーションをよくとることで、話をしやすい環境づくりも意識しています。

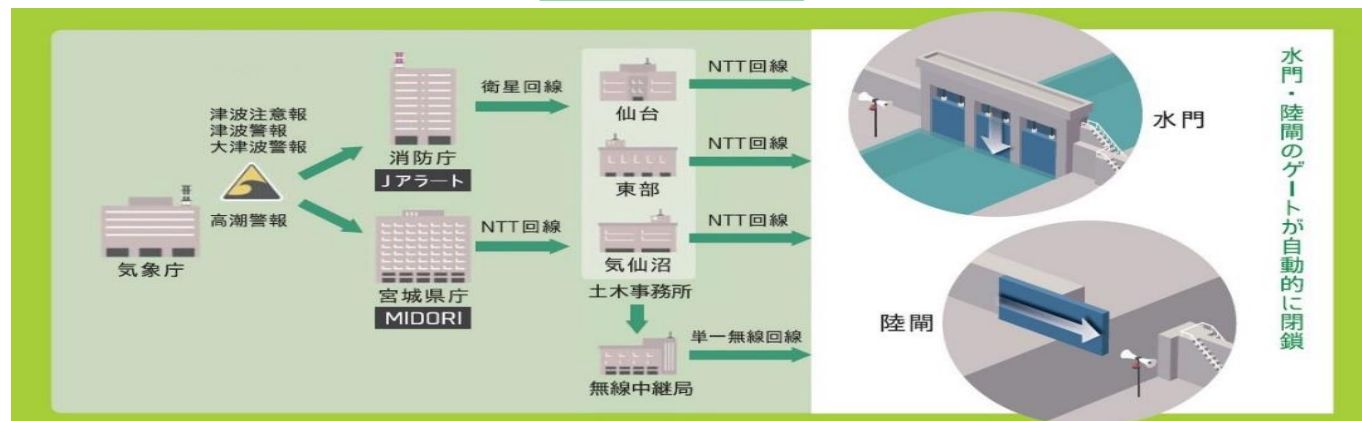
# 印象に残っている業務

設備課で担当した※水門・陸閘自動閉鎖システムの構築では、県民の生命と財産を守ることに直結するシステムであるため、特に緊張感を持って取り組みました。

工事費合計約22億の工事であったため、庁内はもちろん、庁外の各関係者との調整を綿密に行い、完成時の達成感は大きかったです。

※東日本大震災での津波被害の教訓から、水防団員等の方々が現地に行かなくても安全に水門・陸閘が閉まる仕組みを作りました。

## システム構成



## 水門・陸閘



# 仕事のやりがい

多くの人に影響を与える公共物（県有建築設備・ダム設備・上下水道設備など）に関わり、長期間使われるものに手を加えての維持管理や新設・改修をしていくので、やり遂げたときは達成感・優越感があります。



# 職場の雰囲気

- ◆ 現在所属 設備課の構成
  - 50代（6名） 課長・総括・班長・主幹
  - 40代（3名） 主幹
  - 30代（3名） 主査・技師 合計12名
- 現職場では、電気・機械職員が在籍しており、ベテランの職員も多く、設備に関する技術的な相談もしやすい雰囲気となっています。
- 当課以外の職場でも、明るく楽しい雰囲気の職場が多いと思います。
- また、定期的に人事異動があり、数多くの職員と知り合いになることができます。



# 宮城県職員の魅力

北は栗原市、南は白石市まで県内全域を管轄しますので、地域の魅力を  
発見することができます。（美しい風景や観光スポットなどなど）



写真上：花山ダム（栗原市）



写真左：西行戻しの松公園（松島町）



写真右：やくらいガーデン（加美町）



写真下：大島架橋（気仙沼市）

## ◆ 筆記試験

公務員試験特有の問題（数的数理・判断推理）については過去問を用いての反復練習がおすすめです。また、専門試験については、参考書での対策はもちろんですが、資格試験（電気主任技術者など）の勉強を行うことで効率的に理解を深められると思います。

## ◆ 面接試験

自分の考えを相手方にしっかり伝えること、相手方の求めていることは何かを理解できるようポイントを押さえることが重要です。また、社会人としてのマナーや言葉遣いや、周りとの協調する意識を持つことも必要かと思ひます。

# 先輩職員からのメッセージ

- 電気職の仕事は安全・安心な県民生活を支える非常に重要な仕事です。
- 自分の専門知識を活かすとともに、様々な分野での仕事を通してさらなる知識や経験を習得でき、自分自身の成長を感じることができます。
- ◆ 設備職の仕事は「あたりまえ」を明日につなぐ仕事です。明るく前向きでエネルギッシュな方と一緒に働けることを期待しています！